

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	神奈川県		2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	かながわの伝統文化の継承と創造プロジェクト		【計画の改善時期】 平成30年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
5 実施計画の概要				
<p>1 「かながわの伝統文化の継承と創造プロジェクト」の県文化振興行政・文化財保護行政上の位置づけについて 神奈川県文化芸術振興条例(平成20年7月制定)に基づき策定した「かながわ文化芸術振興計画」(平成21年3月策定、平成26年3月改定。以下「振興計画」という。)において、平成26年度から30年度に県が取り組む「重点施策」の筆頭に「文化資源や伝統芸能を活用した文化芸術の発信」を挙げている。</p> <p>具体的には、市町村と連携して、伝統芸能の発表の場や鑑賞機会の充実、各地域の文化資源や伝統芸能に新しい光を当て、発信を行うこととしている。</p> <p>「かながわの伝統文化の継承と創造プロジェクト」は、この施策の中心として位置づけ、今後も県が継続する取り組みである。</p> <p>2 具体的な展開 平成25年度は、横浜市西区紅葉ヶ丘に集積する3つの公立文化施設(横浜能楽堂、県立音楽堂、県立青少年センター)を会場として、本県に縁のある伝統芸能・古典作品を核に、神奈川フィルオーケストラと能や邦楽をコラボレートさせるなど、新しい伝統文化の魅力を発信した。</p> <p>また、平成26年度は、本県を代表する海の歴史的観光地である、県指定史跡・名勝「江ノ島」、平成27年度は、山の歴史的観光地である「大山」、平成28年度は、「史跡小田原城跡」や周辺の有形文化財、平成29年度は、東海道五十三次8番目の宿場がある「大磯」にて、伝統芸能フェスティバル「カナガワ リ・古典プロジェクト」を開催した。</p> <p>この取り組みを、今後も県内各地で実施することで、本県の多彩な文化遺産の価値を再発見し、その新しい魅力を幅広い層の方々に体験していただくことができ、文化資源を活用した地域づくりを推進することができることから、一過性のイベントで終わることなく、着実な文化の継承につなげていく取り組みであると考えている。</p> <p>さらに、この取り組みは、2020年東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムとして県内各地で展開していく。このように、地域の文化遺産を次世代に継承していく機運を高め、2020年東京オリンピック・パラリンピック終了後もレガシーとして、引き継いでいけるよう、2021年までを事業実施期間とした。</p>				
6 実施体制				
<p>本事業については、神奈川県国際文化観光局文化課が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。</p> <p>また、事業の実施については、次の団体が実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かながわの伝統文化の継承と創造プロジェクト実行委員会</li> <li>・ 構成団体：神奈川県、神奈川県教育委員会、関係市町村、神奈川県民俗芸能保存協会、神奈川新聞社 他</li> </ul>				
7 実施計画における目標と期待される効果			別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 14,632 千円	平成30年度要望額： 23,610 千円	
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり		
9 その他計画実施により想定される効果(定性的な効果を記載)				
<p>地域の文化遺産を生かした事業のモデルケースと位置づける本計画が起爆剤となって、県内市町村または観光協会など、地域の団体を中心となり同様の取り組みを継続することで、神奈川らしい文化遺産を活かした魅力ある地域づくりの展開が期待できるほか、地域の取り組みと連携して実施することで、行政と民間団体、文化財保護団体による連携・協力体制の創設に繋げることが期待できる。</p> <p>また、県民の伝統文化に対する関心や意識が向上し、地域の文化遺産の保存と、次世代への確実な継承につながるとともに、地域の活性化が期待できる。特に、本県にゆかりのある伝統文化を新しい発想で活用することで、現代を生きる文化芸術として再発信し、伝統文化の魅力を多くの人々に体感していただくことで、伝統芸能に関心が薄い層に対する普及促進に寄与できるほか、県内の民俗芸能団体にとっては発表の機会が増加することから、後継者の育成にも繋がると考える。</p>				

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	
事業概要：	
事業概要：	
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	神奈川県国際文化観光局文化課（マグカル推進グループ）

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分 1 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 1 :	地域の文化遺産の活用による地域活性化を図る芸術・文化イベントなどの情報を一元的に発信するポータルサイト、マグカル・ドット・ネットの新規イベント掲載数の増加※に取り組む（本事業の取組みを除く）。 ※神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略において、K P I（重要業績評価指標）として掲げている。		関連事業:	①	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 3,784 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5,500 件				
設定根拠 1 :	当県では、地域資源を活用した魅力をつくるために、県内の文化芸術イベント情報をリアルタイムで発信するポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」を運営している。 この取組は、掲載イベントにおける鑑賞者の増加のみならず、ソーシャルキャピタルの創出等にもつながると期待できる。 申請事業を実施するに当たり、開催地の市町村や民間団体と連携・協力し、地域の伝統芸能等の掘り起こしを行うことで、地域が主体となった文化芸術振興の機運が醸成され、上記のサイトに掲載するイベント数も増加することが見込まれる。 このことから、当サイトの新規イベント掲載数を毎年度増やしていくことを目標に設定する。				
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
4,159 件	件	件	件	件	件
22%					

様式 1－1 別紙②

8（2）実施事業の概要 別紙

事業①：	カナガワ　リ・古典プロジェクト2018　茅ヶ崎			実施団体：	地域民俗芸能文化団体　他	
事業区分：	普及啓発			事業期間：	平成　29　年度　～　平成　33　年度	
事業概要：	本県にゆかりのある伝統文化を活用し、現代を生きる文化芸術として発信する、特色ある総合的な取組み「カナガワ　リ・古典　プロジェクト」を実施することで、文化遺産の価値や魅力を体感してもらう機会を提供し、文化芸術の振興を図るとともに、地域のにぎわいの創出による地域活性化を推進する事業である。					
評価指標区分：	・その他				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	地域の文化遺産の活用による地域活性化を図る芸術・文化イベントなどの情報を一元的に発信するポータルサイト、マグカル・ドット・ネットの新規イベント掲載数の増加※に取り組む（本事業の取組みを除く）。 ※神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略において、K P I（重要業績評価指標）として掲げている。					
目標値：	【現状値】　平成　28　年度　3,784　件　⇒　【目標値】　平成　33　年度　5,500　件					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成　29　年度	平成　30　年度	平成　31　年度	平成　32　年度	平成　33　年度	平成　34　年度	
4,159　件	件	件	件	件	件	
22%						